

# 東光寺たより 39

## 観音さんのお慈悲

観音菩薩は慈悲の心を象徴した仏様です。慈悲心がお姿を持ったのが観音様です。さて慈悲心とは何でしょうか。それは共感する心のことです。他人の喜びをともに喜び、他人の悲しみをともに悲しむ心。例えれば、病気の子供の苦しみを我がことのように苦しみ、子供の喜びを我がことのように喜ぶ母親の心、それが慈悲心です。観音様は、その母親のような心で、すべての生命を見つめています。

本堂脇の観音さんの紅葉が見頃を迎えました。夏の酷暑で色あせてしまったと思いきや秋も深まる頃には鮮やかな深紅な世界を醸し出してくれています。その世界に感謝したいです。



## 法類のお寺の創立記念のお式に出席しました

同じ町内のお寺さんへ副住職と共に出席しました。  
1353年(南朝:正平8年、北朝:文和2年)6月に後光厳天皇が都での戦乱を避けて、揖斐の瑞巖寺の小島頓宮へお入りになりました。滞在したことにより、"瑞巖報国禪寺"と勅額を賜る歴史の在るお寺はいつも風光明媚だなあとシャッターをきるのでした。



創立記念の法會の後は心の籠った料理を頂いたあります。特にがんもはわざわざ豆腐等を水切りいて中に入る具も下味を付けてのお手間いりでした。その他、ゴマ豆腐や白和えも美味しく頂きました。この法會にお参りいて下さるお客様をもてなす心や日頃の報恩に痛み入る住職。思えば住職の師匠も客人をもてなすのは料理を振る舞うが一番だぞと常日頃申されてみえたなあ。



## 栎尾へお参りに行きました

毎年 11月下旬の師匠の命日には新潟は栎尾に有るお墓へお参りに赴く住職。毎回歓待を受けるのであります。此度は歓待先のお婆さんが逝去されたと知らせが入りお参りに伺うのでありました。折下雪が降る寒い時期に差し掛かる為、雪で木が折れないように雪囲いがしてあり、雪国の風景を伺い知る事が出来ました。

## ありがとうございました



## プリンちゃんのドッグラン

ボクの為に境内の一部にドックラン作ってくれたんだ♪嬉しいな♪ここで前の住職さんとお客様を出迎えたいと思います。作ってくれてありがとうだワン♪



## 初雪の知らせ

師走に入って間もない頃雷がなりやおら雪が降ってまたたく間に銀世界になりました🌟雪国に比べたらさほど大した事ありませんがそれでも初雪が降りました🌟



## そして暖炉もどきで丸くなる 🐶



文責 “東光寺”